

第 10 回議会報告会 報告書

地 域 名	浅野地区		
年 月 日	平成 26 年 5 月 20 日 (火)	会 場 名	畑中央公民館 ふれあいの郷
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 10 分
参 加 数	男 14 人	女 2 人	合 計 16 人
班 長	深澤 巧	司 会 者	深澤 巧
報 告 者	藤原哲郎	書 記	藤原敏憲
班 員 名	深澤 巧、北尾行雄、藤原哲郎、藤原敏憲		
市 民		対 応	
報告に対する質疑	① 「健康づくり推進条例」の内容は。健康に暮らせることが大事だが、市が具体的に何をするのか。国の交付金を受けて地域活性化施設として改修できた旧畑分校の利用方法も考えなければならない。	① 一昨年行った高齢者アンケートの調査結果に基づいての施策である。今後、公園整備などの市の責務で方策を講じていく、市民の意識を高める理念条例である。具体的な施策提案は議会からも行ってきたい。	
	① 農業特区の国のヒヤリングで、市長は耕作放棄地が増えたのは農業委員会や農協に任せていたからと報告している。昨年 10 月末の農業委員会で初めて農業特区の説明を受け、大混乱した。農業委員会を無視するやり方はよくない。知事も特区の応援をしているが、中身が分かっていない。どう解決するのか。 ② 老人福祉大会は、合併後旧町の時と変わってしまい、全員が参加できなくなった。旧町単位でやるほうがいい。 ③ 市道伊豆浅野線の補修についての要望書を市長と議長に提出した。「歩けるようにする」とのことであったが、その後になって、できないと言われている。議会としてどうしているのか。 ④ やぶパートナーズの社長の副市長が、米をいくらでも買うと言っているが、経営はどうなっているのか。	① 議会には特区関連の議案が出ていないがそれぞれの立場で質問している。どうなっているのか、という声が多いし、期待もある。議会としても責任ある対応が必要だ。農業委員会との協議は必要と考える。昨日の報告会でも議会も特別委員会を作って自ら調査すべきという提案があった。議会としても全体で対応したい。 ② 老人クラブも脱会する単位クラブも出てきている実情にある。老人クラブの運営は、内部で十分話し合って決めるべきではないか。 ③ 市道の件は当局に伝える。議会に提出された要望書等は全員に配付している。すべてを委員会で審査することにはしていないが、委員会で取り上げて当局に実現を求め予算化された事例もある。 ④ 決算が議会に報告されるのでその時に経営状況について明らかになるので議会からも問いただしていく。	

意見交換会での質疑	⑤ 給食センターが建設されるが、アレルギー対策の調理室が狭いのではないかな。十分な対応ができるのか。 ⑥ 財政調整基金が 40 億円もあるのなら、福祉に回してもいいのでは。今年度の予算のうち投資的経費は 7.8% である。14 億しか住民要望に応えられない。住民要望に応えられる予算が必要だ。 ⑦ 浅野の円応教下の県道の改修を要望しているが、予算面で厳しいと聞いている。このままでは子どもたちが危ない。	⑤ 市からは十分な対応ができると報告を受けている。アレルギー対策は極めて重要なことで、委員会でも慎重に審査してきた。 ⑥ 合併して 10 年。交付税優遇措置が減額していく。その中でも住民福祉に資する予算を組んでいかなければならない。財政調整基金についても使い道について議会内部から同様の意見も出ている。 ⑦ 市は通学路の安全確保ということで P T A 等の要望をまとめて県や公安委員会との調整をしながら取り組んでいる。今度、インターもできたということで交通量の変化もあるのかもしれない。子供の安全という面から議会も調査できると考える。市にも伝える。
その他（提言など）	なし	—
備考（今後の改善点等） なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 26 年 5 月 30 日

報告者 3 班 班長 深 澤 巧

